

建築物

延べ面積が500m²以下の建築物

中間・完了

下記の通り建築工事施工結果を報告します。

この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

年 月 日

殿

代表となる工事監理者

住所

会社名

氏名

電話

()級建築士事務所

()登録第()号

㊦ ()級 建築 士

()登録第()号

工事施工者

住所

会社名

氏名

電話

建設業の許可 大臣・知事 第()号

㊦

(法人にあつては、その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

品質窓口責任者氏名

㊦

電話

()

下記の建築工事施工結果については、工事監理者より報告を受けました。

建築主

住所

会社名

氏名

電話

()

㊦

(法人にあつては、その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

記

(1) 工事現場	①名 称			工区棟	③ 工事の種類	新築・増築・改築	
	②所在地	区市				電話 ()	
(2) 代表となる設計者	氏名		所 属 会 社			電話 ()	
(3) 構 造 設 計 者	氏名		所 属 会 社			電話 ()	
(4) 現 場 代 理 人 (所 長)	氏名		(5)品質管理責任者	氏名			
(6) 階 数	地上 階・地下 階	塔屋 階	(7)建築面積	m ²	(8)延べ面積	m ²	
(9) 構 造	木造・S造・RC造・WRC造・SRC造・混構造(造＋ 造)・その他()						
(10) 高 さ	軒高	m	最高	m	(11)確認済証交付機関		
(12) 確認・計画通知、年月日及び番号	年 月 日		第 号				
(13) 計 画 変 更 年 月 日 及 び 番 号	年 月 日		第 号(変更内容は別紙) 第 号(変更内容は別紙)				
(14) 構造計算の方法	(X)ルート1ー()・ルート2ー()・ルート3 (Y)ルート1ー()・ルート2ー()・ルート3		限界耐力計算・時刻歴応答解析 その他()				
(15)工事監理者検査事項	指摘事項・是正内容(別紙可)		工事監理者検査事項		指摘事項・是正内容(別紙可)		
(16) 工事監理者総合所見			(17) 工事監理組織 (各担当分野及び担当者名)			※ 受 付 欄	

(注意)

1 ※印のある欄は、記入しないでください。

2 代表となる工事監理者又は工事施工者の氏名(法人の場合にあつては、代表者の氏名)の記載を自署で行う場合においては、押印を省略できます。

(日本工業規格A列4番)

工事現場溶接工事報告（現場溶接を実施した場合）						
溶 接 部 の 検 査	溶接管理技術者		所属		氏名	資格
	検査機関名		CIW・都登録番号			
	検査員		氏名	資格		
	溶接部検査率		確認時指定 VT()% UT()%		実 施 VT()% UT()%	
工事現場溶接の部位 ※1						
溶 接 部 検 査 結 果	VT検査項目		不合格箇所	「有」の場合、不合格箇所の部位と対処方法		
	食い違い		有・無			
	ずれ		有・無			
	アンダーカット		有・無			
	われ		有・無			
	余盛		有・無			
			有・無			
			有・無			
	UT検査項目		不合格箇所	「有」の場合、不合格箇所の部位と対処方法		
	ブローホール		有・無			
			有・無			
			有・無			
入 熱 ・ パ ス 間 温 度 管 理 状 況	温度管理結果の考察					
	手順管理結果の考察					
工 事 現 場 溶 接 検 査 項 目 報 告						
確認項目		確 認 内 容		工事施工者	工事監理者	備 考
				確認方法※	確認方法※	
溶接接合部	1 工事現場溶接部分の組立精度	令 67 条 告示 1464	a) 開先角度、ルート面、ルートギャップ、食違い等組み立て時の鉄骨の精度			
	2 工事現場溶接部分の製品検査	令 67 条 告示 1464	a) 外観検査及び超音波探傷検査結果（参考：JASS6 付則 6 鉄骨精度検査基準、UT 基準）			
	3 工事現場溶接部分の外観・形状	令 3 章 8 節	a) 工事現場溶接部の部位(確認図書との照合)			
令 92・96		b) 溶接継ぎ目の種類(突合せ溶接・すみ肉溶接)				
(注意) 1 [コラム柱 ― コラム柱] 、[ダイアフラム ― H鋼梁フランジ] 等と記すこと。 2 確認方法 A：工事現場で目視により確認したもの B：工事現場で検査機器を用いて計測検査したもの C：報告書により確認したもの D：工場等で検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの E：第三者機関等が検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの F：工事監理者（ 構造担当：会社名 氏名 ）が直接確認したもの 施工者及び工事監理者が A から F までの確認方法を参考に記入する。また、配筋工事等の重要項目については、表紙の工事監理組織欄に構造担当者が記載されている場合で構造担当者が直接確認したものについては、A+F、B+F、A+B+C+F 等と記入する。						

鉄 骨 造 確 認 項 目 報 告									
確認項目			確 認 内 容			工事 施工 者	工事 監理 者	備 考	
						※ 確認 方法	※ 確認 方法		
一 報 告 書 審 査 に よ る 確 認 事 項	加 工 工 場 の 選 定		規則 1 の 3	a) 建築物の規模等認定の条件に見合った生産能力の有無、溶接部の受け入れ検査率の確認					
	指 定 建 築 材 料 の 品 質 規 格 確 認		法 37	a) 鋼材、高力ボルトセットの規格品質の確認					
			令 67	b) 溶接材料の規格と鋼材の組み合わせの適否					
	組 立 精 度 確 認		令 67	a) 開先角度、ルート面、ルートギャップ、食違い等組み立て時の鉄骨の精度					
	寸 法 精 度 測 定			a) 鉄骨部材の寸法精度（参考：JASS6 付則 6 鉄骨精度検査基準）					
	高 力 ボ ル ト 接 合 部 の 処 理		令 67	a) 高力ボルト接合部の摩擦接合面の処理、ボルト孔の径ピッチ・縁短距離等					
溶 接 接 合 部 の 検 査		告 1464	a) 外観検査及び超音波探傷検査の結果確認(令 67 条、参考：日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準」)						
工 事 現 場 確 認 事 項	1 全 体	加工工場の類別	規則 1 の 3	a) 表示板又は認定書による加工工場の類別グレード確認					
		指定建築材料の 品質規格確認	法 37	a) 鋼材等の品質規格証明書と現物の照合					
			令 67	b) 溶接材料の規格と鋼材の組み合わせの適否					
			部 材 の 配 置	令 3 章 8 節	a) 柱、はり、ブレース、床版等の配置（確認図書との照合）				
		部材の寸法・形状	令 3 章 8 節	a) 柱、はり、ブレース、ダイアフラム、床版等の寸法・形状（確認図書との照合）					
	建 て 方 精 度		a) 架構の建て方精度（参考：JASS6 付則 6 鉄骨精度検査基準）						
	2 高力ボルト （トルシア型）		令 92 の 2	a) 工事現場受け入れ検査(トルク係数値確認導入張力確認試験)実施状況及び保管状況の確認					
			令 92 の 2	b) ボルトの径・本数、スプライス数・厚さ、摩擦接合面の確認					
			令 68	c) ボルトの孔径、中心距離、縁端距離の確認					
			令 92 の 2	d) 締付け状態の確認(肌すき・ピンテール破断・マーキングの状態の確認)					
	3 ブ レ ー ス		令 3 章 8 節	ブレース主材の断面・材質、接合部の形式・板厚・材質等の確認					
	4 柱 の 脚 部 の 構 造 方 法	共 通	令 66	a) 柱脚接合法と仕様の確認(確認図書との照合)					
		露 出 形 式	令 66	a) アンカーボルトの材質・径・本数とナットの高さの確認					
			令 66	b) アンカーボルトの均等な配置の確認					
			令 66	c) 座金の使用、ナットの戻り止め措置の確認					
			令 66	d) アンカーボルトの定着長さの確認					
			令 66	e) ベースプレート形状の確認（厚さ、穴径、縁端距離）					
				f) アンカーボルトの締め付け状況の確認					
		根 巻 き 形 式	令 66	a) 根巻き部分の高さの確認					
			令 66	b) 根巻き部分の立ち上がり主筋の本数及びその頂部のかぎ状架構の確認					
			令 66	c) 立ち上がり主筋の定着長さ(根巻き部分・基礎)の確認					
			令 66	d) 根巻き部分の帯筋(令 77②③)					
				e) スタッドボルトの径・本数・配置・溶接状況の確認					
		埋 込 み 形 式	令 66	a) 鉄骨柱の埋込長さの確認					
			令 66	b) 側柱・隅柱の U 字型補強筋等による補強の確認					
			令 66	c) 埋込部分の鉄骨のかぶり厚さの確認					
		5 床 ス ラ ブ 接 合 部		令 3 章 8 節	a) 床構造の形式(合成スラブ・ . . .)				
				b) 床構造の厚さ・配筋					
	令 3 章 8 節		c) シャーコネクター(頭付きスタッド等)の施工状況・検査結果の確認						
6 帳 壁 等			a) 緊結金物の取り付け状況の確認						
提出書類 特殊工法施工報告書、鉄骨製作要領書									
提示書類（後日返却するもの） くい施工結果報告書、調査報告書、鋼材のミルシート等、工場及び現場溶接部受入検査報告書、各種試験・検査結果報告書、施工写真（配筋・試験体採取・柱脚・合成床・HTB締め付け）									
(注意) 確認方法 A：工事現場で目視により確認したもの B：工事現場で検査機器を用いて計測検査したもの C：報告書により確認したもの D：工場等で検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの E：第三者機関等が検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの F：工事監理者（ 構造担当：会社名 氏名 ）が直接確認したもの 施工者及び工事監理者が A から F までの確認方法を参考に記入する。また、配筋工事等の重要項目については、表紙の工事監理組織欄に構造担当者が記載されている場合で構造担当者が直接確認したものについては、A+F、B+F、A+B+C+F 等と記入する。									